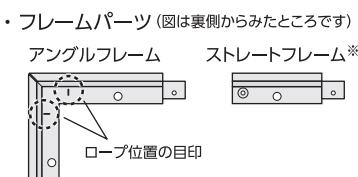


## セット内容

ご使用になる前に、内容物をご確認ください。



- フレームパーツ (図は裏側からみたところです)
- アンダーフレーム
- ストレートフレーム<sup>※1</sup>
- ロープ位置の目印
- 下敷きボード(白い厚紙)
- 押し込みヘラ
- 押さえ用ロープ
- ネジ(ワッシャー付)/ナット
- 使い方説明書
- 布<sup>※2</sup>

<sup>※1「布パネ<30×30>」には、ストレートフレームは入っていません。  
※2「布パネフレームセット」には、布は入っていません。</sup>

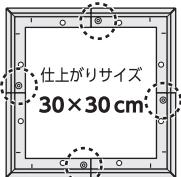
## 準備するもの

- アイロン・アイロン台・あて布
- 定規またはメジャー
- しるし付けペン(後で消せるタイプ)
- 布切はさみ(布を必要なサイズにカットします)
- プラスドライバー<2番>(フレームの組立に使用します)
- セロハンテープ
- はさみ(押さえ用ロープをカットします)
- 布\*(「布パネフレームセット」には布は入っていませんのでご準備ください)

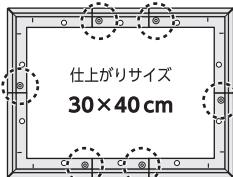
## &lt;フレームとネジ留めの位置&gt;

(○) ネジ留め箇所

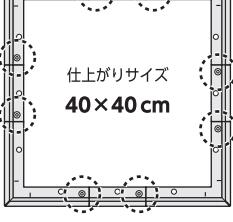
\*図は裏側からみたところです



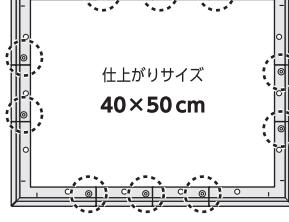
フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	なし



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	2 個



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	4 個



フレームの種類	数量
アングルフレーム	4 個
ストレートフレーム	6 個

\*別売の「布パネ延長フレーム(71-121)」を使えば、10cmサイズを大きくできます。(最大50×50cmまで)

## 別途、お好みの布を準備される時は、ご使用前に下記の方法で布をチェックしてください。

## 適している布

普通地～やや厚地(10オンスデニム、11号帆布程度の厚さまで)で織目の詰まった布

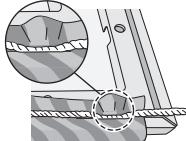
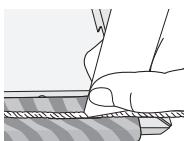
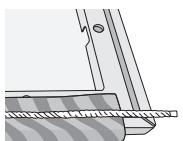
## 適さない布

薄地、透けた布やレース地、厚地(12オンスデニム、10号帆布、コーデュロイ等の分厚い布)、コーティング加工など加工布、織目が粗い布

※布を張ったり、角に入れる時に破れがあるので、アンティーク布等、弱い布は使用しないでください。

布端をフレームに巻き込んでロープをフレームの溝に押し込み、布が固定できるかチェックします。

&lt;布のチェック方法&gt; ※溝の中に布とロープが押し込めない場合は、布が固定できないのでご使用いただけません。



①布端をフレームの裏側に折り上げ、溝の上にあたる部分の布の上にロープを置きます。

②押し込みヘラでロープを布と共にフレームの溝に押し込み、布端とロープが溝の中に入るかどうか確認します。(押し込みヘラの先をロープの縄目に沿って差し込み、下に押し込んでいくと入りやすいです)

## フレームを作る前に

## ■ 布をカットします

\*柄の位置を合わせたい場合は、フレームを組み立ててから布をカットしてください。(→右記「柄の位置を合わせたい場合は…」参照)

①布はフレームに巻き込んで固定するため、フレームのサイズより縦横10cmずつ大きいサイズが必要です。

\*布のサイズは、「\*必要な布のサイズ / ロープの長さ・本数」の表をご覧ください。

②布をカットしたら、アイロンをかけてシワを伸ばします。

## ■ 押さえ用ロープをカットします

①ロープの両端の端始末をします。

ロープの端から1cm内側にセロハンテープを巻き、テープの中央部分をはさみでカットします。

②フレームのサイズに応じて、ロープをカットします。

使用中にロープの端がほどけないように、セロハンテープを巻いてからテープの中央部分をはさみでカットして使用します。

\*ロープの長さと本数は、「\*必要な布のサイズ / ロープの長さ・本数」の表をご覧ください。

★フレームを組み立てた後、フレームに付いている「ロープ位置の目印」を目安にカットすることもできます。

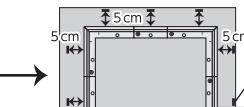
カットしたロープの残りは、捨てずに保管するとサイズ変更のときに便利です

## \*必要な布のサイズ/ロープの長さ・本数

フレームサイズ	布のサイズ(約)	ロープの長さ(約) × 本数
30×30 cm	40×40 cm	21 cm × 4 本
30×40 cm	40×50 cm	21 cm × 2 本 / 31 cm × 2 本
40×40 cm	50×50 cm	31 cm × 4 本
40×50 cm	50×60 cm	31 cm × 2 本 / 41 cm × 2 本

## 柄の位置を合わせたい場合は…

例) フレーム<30×40 cm>の場合 必要な布のサイズ: 約 40×50 cm



①組み立てたフレームを、しるし表向けの布の上に置きます。

②柄の位置を確認したら、しるし付けペン等でフレームから5cm外側の位置にしるしを付けます。

③布切はさみでカットします。

カットする位置

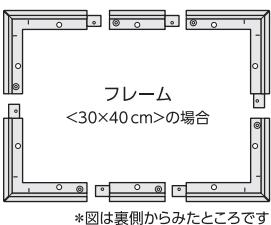
## ファブリックパネルの作り方

作業は平らな台の上でおこなってください

- 1** フレームパーツを組み立てます。プラスドライバー<2番>を使って、フレームパーツ全てをネジとナットで固定します。

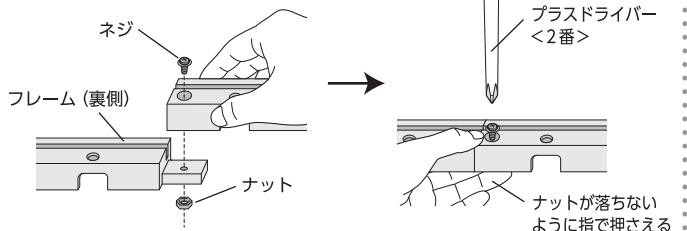
※ネジ留めの位置は、左記

「フレームとネジ留めの位置」をご覧ください。

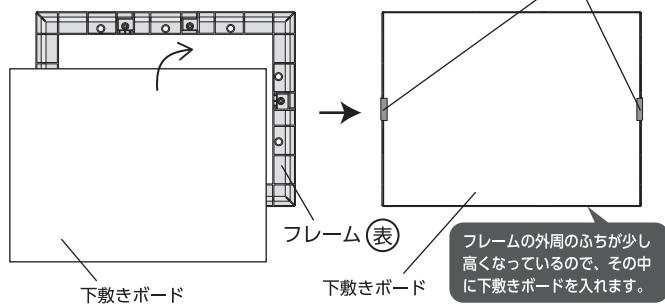


**注意**

ネジは、ガタつきがない程度に締めてください。  
(締めすぎると、破損の原因になります)



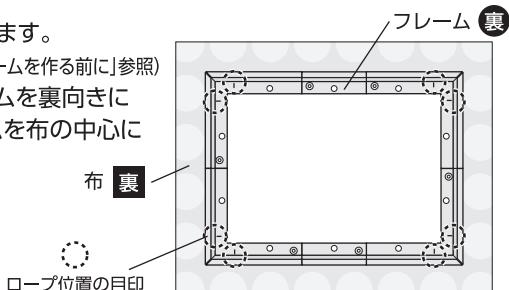
- 2** フレームを表に向かって、付属の下敷きボードを上に置き、セロハンテープ等でフレームに貼り付けます。



- 3** 布を準備します。

(→左記「フレームを作る前に」参照)

布とフレームを裏向きにし、フレームを布の中心にのせます。



- 4** 一辺の布端をフレームの裏側に折り上げ、溝の上にあたる部分の布の上にロープを置きます。(ロープ位置は「ロープ位置の目印」に合わせます)

押し込みヘラでロープを溝に軽く押し込みます。

★ロープの縄目に沿ってヘラ先を入れると

押し込みやすいです。



表に向かって、布がゆがんでいないかを確認したら、向かい合った辺にも同様にロープを軽く押し込みます。

※布がゆがんでいる時は、ロープをはずして布を再度セットしてください。(→右記「布のはずし方」参照)

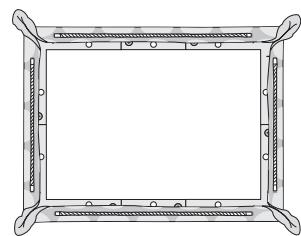
**注意**

布は引っ張りすぎでください。柄がゆがんだり、フレームがゆがむことがあります。

- 5** 全てのフレームの溝にロープ

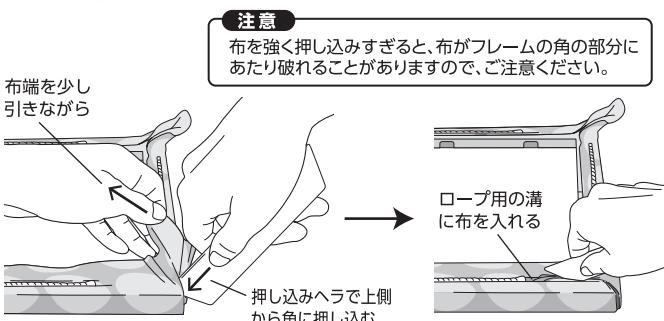
を軽く押し込みます。

表に向かって、布がゆがんでないかを確認したら、押し込みヘラで全てのロープをフレームの溝の奥までしっかりと押し込みます。

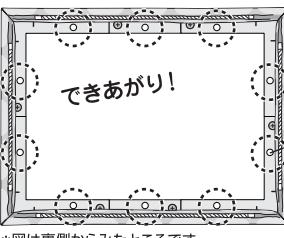


- 6** フレームのコーナーの処理をします。

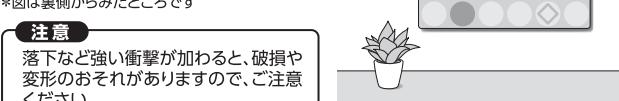
フレームの裏のコーナーに出ている布をつまみ上げ、押し込みヘラを使ってフレームの角にあいた隙間に上側から押し込みます。入りきらなかった布は、押し込みヘラでロープ用の溝に入れ込み、布を整えてください。



- 7** 壁に飾る場合は、フレームの裏にある穴を利用して、市販のフックやプッシュピン、ひも等を通して飾ります。



穴の大きさ … (直径)約8 mm  
フレーム完成時の重さ … 約500g  
(フレーム<40×50 cm>/布が普通地の場合)



\*押し込みヘラ、余ったロープは捨てずに保管しておいてください。  
(サイズ変更や、布を替える際に使います)

### 布のはずし方

フレームを裏に向けて布端を引き、ロープをはずすと、布は簡単にはずせます。



\*布を交換したい時も同様にしてはすします。

### フレームサイズを変更して使用する場合

- ・下敷きボード (下敷きボードには白い厚紙が適しています)

付属の下敷きボードをカットするか、フレームサイズに応じた下敷きボードをご準備ください。

- ・押さえ用ロープ

付属のロープをカットしてお使いください。

ロープが足りない場合は、市販のポリエステルロープ(5mm・三つ打)をお買い求めください。

フレームサイズ	下敷きボードのサイズ(約)
30×30 cm	29.5×29.5 cm
30×40 cm	29.5×39.5 cm
40×40 cm	39.5×39.5 cm
40×50 cm	39.5×49.5 cm
50×50 cm	49.5×49.5 cm

▼製品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上クロバー(株)  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」まで現品をお送りください。  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277